

防犯・防災情報

問合せ先 市民協働課

安全なまち大阪を目指して！

【府内の治安情勢】 平成28年中は、自治体、警察、地域住民などによるオール大阪体制の取組により、刑法犯認知件数が、ピーク時の平成13年と比べると約62.7%減少しましたが、今年に入りひったくりの認知件数が増えるなど引き続き対策が必要な状況となっています。

【次のことに注意しましょう】

■ひったくり

- 「ひったくり防止カバー」を自転車の前かごに取り付ける
- カバンはたすきがけにするか、車道と反対側にしっかりと持つ

■自転車盗

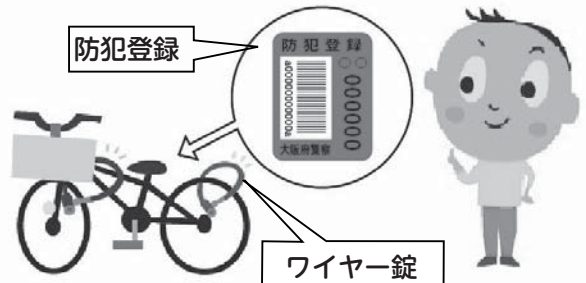
- わずかな時間での駐輪でも、必ず鍵をかける
- 防犯性能の高い鍵（シリンダー錠など）を取りつける
- ワイヤ錠による2重ロックなどの防犯対策をする
- 自転車を路上に放置することはやめる
- 大切な財産を守るため、防犯登録をする



ひったくり防止カバー

「防犯登録」に関する問合せ先

大阪府自転車商防犯協会
☎06-6629-0750
<http://www.bouhankun.com/>



気象災害から命を守るために気象警報が生まれ変わります!!

気象庁では、気象警報の4つの改善を予定しています。

- ①命に危険を及ぼすような大雨などが予想される時、早めに心構えを高めていただけるよう、5日先までの大雨警報などの発表の可能性を「高」「中」の2段階で提供します。
- ②警報・注意報の発表時に、いつ危険度が高まるのかを確認できるよう、最大24時間先までの危険度の予想を色分け表示して提供します。
- ③これまで大雨・洪水警報などの発表基準に用いてきた雨量に代えて、災害発生との結びつきが強い「指数」（土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数）を用いるようにします。これにより、地域の災害特性を一層考慮した、よりの確な警報・注意報を提供します。
- ④大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで実際に危険度が高まっているのかを地図上に色分け表示します。例えば、「洪水警報の危険度分布」では、中小河川の急激な増水による危険度の高まりも実際に水位が上昇するより前の早い段階から確認できるようになります。

これらの改善した情報は、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/>) でご覧いただけます。警報・注意報などが発表された時には、いつ・どこで災害発生の危険度が高まると予想されているのかをご確認いただき、早めの安全確保行動を心がけてください。

問合せ先 大阪管区气象台 (☎06-6949-6313)

定時放送の時間が変わります！

防災行政無線を使って行っている夕方の定時音楽放送について、7・8月は放送時間が午後6時に変更されます。

【定時音楽放送】

目的 子供たちの帰宅を促すことや、施設の点検のため放送を行っています。

曲名 夕焼け小焼け

時間 ●7・8月…午後6時 ●左記以外…午後5時

